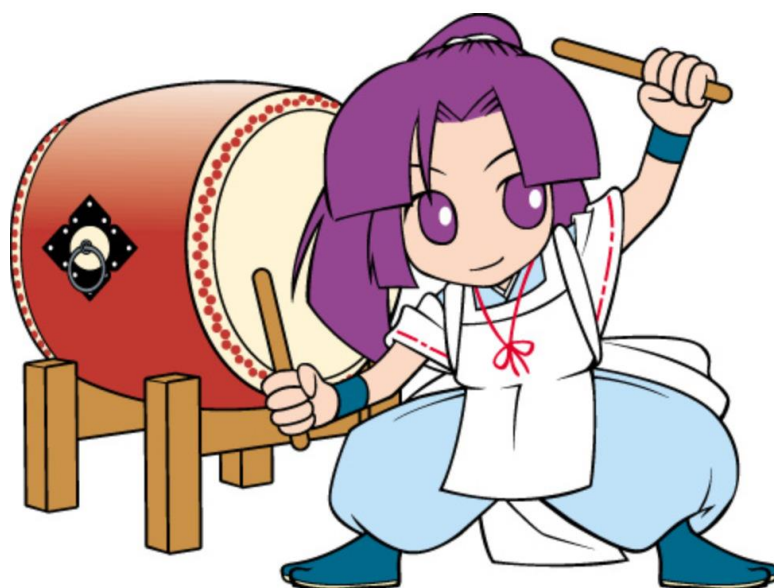


第 37 回 京都府高等学校総合文化祭

郷土芸能部門プログラム



- 〈日時〉 令和2年11月1日(日) 開場:14時 開演:14時30分
〈会場〉 東部文化会館
〈主催〉 京都府高等学校文化連盟
〈特別協賛〉 株式会社 村田製作所
〈後援〉 京都府 京都市 京都府教育委員会 京都府公立高等学校長会
京都府私立中学高等学校連合会

京都府高等学校文化連盟会長挨拶



「第 37 回京都府総合文化祭（京総文）」を今年度も開催できますことを心より感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応のため、年度当初から臨時休業となり、生徒たちは不安な思いの中、大変な日々を過ごしてきました。学校再開後、生徒の一人が「一週間前から楽しみにしていた。部活ができて、学校生活が送れることがとても嬉しい。」と言ってくれた言葉がとても印象的でした。生徒も教職員もみんなが『あたりまえの日常生活』がいかにかけがえのない、大切なものであるかを実感した日々でもありました。

まだまだ予断の許さない状況ですが、京都府・京都市教育委員会や特別協賛の村田製作所様はじめ多くの関係者の皆様のお理解・御支援、各専門部の感染予防策を含め万全の体制での実施に向けての御準備、そして加盟校の教職員や保護者の皆さまのお理解・御協力のお陰で、京総文を開催することが出来ます。ありがとうございます。

9月13日から11月7日までの期間に、各部門が発表や競技を行います。さまざまな点でいつもとは違う形での開催となりますが、生徒と教職員が協力・工夫することで、一人一人にとって、記憶に残る素晴らしい京総文になればと思います。生徒への御声援・御支援をお願い申し上げますと共に、今後とも本連盟の活動に御支援・御協力をお願い申し上げます。

京都府高等学校文化連盟

会長 吉川 孝

(京都府立鴨沂高等学校長)

京都府高等学校文化連盟郷土芸能専門部会長挨拶



今年の夏は、度重なる豪雨、記録的な猛暑など、多くの自然災害に見舞われました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。また、世界各地で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全国の学校は休校による新年度スタートとなりました。部活動に力を注いでこられたみなさんにとっては、これまで目標としていた大会や発表会が相次いで中止、またWEB上のみでの大会実施となり、非常に辛い思いをされてきたことでしょう。しかし、ようやくこの第37回京都府高等学校総合文化祭が開催されます。

みなさんには、芸術文化活動にいそむ京都府の高校生が一堂に会し、積極的な交流を通して知見を広めるとともに互いの夢を語り友情を育んでいるこの大会が、多くの人たちの協力の下で開催されることに感謝の気持ちを持って参加してほしいと思います。そして、是非、この日のために厳しい練習に耐え、心をひとつにして取り組んでこられた成果を発揮してください。

最後に、コロナ禍の中での本大会開催にあたり、温かいご支援、ご協力をいただきました関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

今年も実りある大会となることを心より祈念して挨拶いたします。

京都府高等学校文化連盟郷土芸能専門部

会長 安田 文彦

(京都橘高等学校長)

プログラム

1. 京都府立綾部高等学校「綾部太鼓」
2. 京都府立南丹高等学校「出雲風流花踊り」
3. 京都府立南陽高等学校「マジック&ジャグリングショー」
4. 京都府立嵯峨野高等学校「梟」
5. 京都光華高等学校「勇み」
6. 京都府立北嵯峨高等学校「四つ太鼓」「越後晒し」
7. 京都橘高等学校「伏水の香～花傘に祈りを込めて～」



各団体・演目紹介

1. 京都府立綾部高等学校「綾部太鼓」



団体紹介

京都府立綾部高等学校スポーツ総合専攻の3年生です。私たちスポーツ総合専攻では、伝統芸能である綾部太鼓を体育の実技の中に取り入れ、1年生から3年生まで一堂に会して行っています。全身の激しい動きとバチさばきを筋力の強化と持久力・敏捷性の向上に結びつけ、心地よいリズムに情採を養い、合わせて音の芸術「綾部太鼓」としての継承を目指しています。

演目紹介

綾部太鼓は、熊野の荒波を表現した伊勢・鳥羽の九鬼水軍の流れをくむ素晴らしい郷土芸能です。太鼓を打つときの激しい動きと勇壮な響きは、若者の果てしない情熱と躍動を感じさせ、また、柔らかいリズムミカルな調子は人の心を和ませる魅力を持っています。

2. 京都府立南丹高等学校「出雲風流花踊り」



団体紹介

出雲風流花踊り神事を維持・永续するために設立された「出雲風流花踊り」保存会は、平成23年の国民文化祭・京都2011をはじめ、亀岡市内外のさまざまなイベントに参加するとともに、小学校等での体験学習指導等、保存・継承活動を行っています。南丹高等学校の学校設定科目である京都文化学入門においても、保存会の指導を受けて、出雲風流花踊りを習っています。

演目紹介

京都府亀岡市にある丹波国一之宮の出雲大神宮において、4月に行われる鎮花祭で出雲風流花踊りが奉納されます。季節の花を意匠とした花笠をかぶり、鈴太鼓を打ちながら踊り奉納される出雲風流花踊りは、京都府無形民俗文化財に登録されています。

読み仮名

出雲風流花踊り（いずもふりゅうはなおり） 出雲大神宮（いずもだいじんぐう）
鎮花祭（はなしづめのまつり） 意匠（いしょう） 花笠（はながさ） 鈴太鼓（しめだいこ）

3. 京都府立南陽高等学校「マジック&ジャグリングショー」



団体紹介

はじめまして、南陽高校マジック部です。現在、私たちは中学生7人と高校生14人で日々活動しています。大規模なイリュージョンマジックをはじめ、ジャグリングやテーブルマジックなどを中心に練習に励んでいます。全国でも数少ないマジック部ですが、これまでたくさんの方々に支えていただき、今年意事に35周年を迎えることができました。

演目紹介

今回の出演で披露させていただく内容は、マジックのネタに関わるのでくわしくはお伝えできません。しかし、実際にマジックを見たことがある人も、まだ見たことがない人もきっと不思議な体験ができると思います。ぜひ、楽しんでご覧ください。

4. 京都府立嵯峨野高等学校「梟」



団体紹介

嵯峨野高校は「和敬清寂」という茶道の心を建学の精神とし、学科名を「京都こすもす科」とするなど京都の伝統文化を尊重しています。2009年、大藏流狂言師茂山千五郎先生の御指導をうけて狂言の取組が始まり、2016年には狂言部が発足しました。毎年12月に能舞台で狂言会を開催するほか全国高校生伝統文化フェスティバル等に出演しています。現在、部員は2年生2人、1年生3人。今日は1年生が狂言「梟」を上演します。

演目紹介

まず弟が登場し、兄の様子がおかしいので法印にお祈りをしてもらおうと頼みに行きます。昔は病気は物の怪が人に取りついて起こると考えられていたので、お祈りで物の怪を追い払い病気を治そうとしたのです。法印が家に来てお祈りをすると、病人が鳴き声のように叫びます。これは梟が取りついたのだと、法印は「鳥の印」や「いろはの文」で祈るのですが、はたしてどのような結末が待っているのでしょうか。どうぞお楽しみください。

読み仮名

和敬清寂(わけいせいじゃく)、大藏流(おおくらりゅう)、茂山千五郎(しげやませんごろう)
梟(ふくろう)、法印(ほういん)、物の怪(もののけ)
梟(ふくろう)、鳥の印(からすのいん)、いろはの文(いろはのもん)

5. 京都光華高等学校「勇み」



団体紹介

京都光華高等学校和太鼓部は、平成19年和太鼓同好会として発足しました。現在は中高一貫のクラブ活動として、知徳体のバランスのとれた人となるために、そして、校訓の「美しいひととなろう」をもとに美しい姿勢、演奏に力を入れて日々練習に励んでいます。主な活動としては、京都マラソンの応援をはじめ、福祉施設や地域のお祭りなどで聞いてくれる人に元気を与えられるような演奏を心がけています。

演目紹介

「勇み」は三宅太鼓に代表される横打ちと組太鼓を合わせた曲になります。和太鼓演奏者である内海いっこう先生が作曲し、東京都立新島高等学校がオリジナルで編曲したものに、さらにアレンジを加えました。女子校和太鼓部ならではのしなやかさを意識し、横打ちならではのリズム感を皆さまにお届けします。各パートの個性あるソロ、左右での掛け合いに注目し、私たちの「魅せる和太鼓」をお楽しみください。

読み仮名

東京都立新島高等学校（とうきょうとりつにいじまこうとうがっこう）

6. 京都府立北嵯峨高等学校 六斎踊より「四つ太鼓」「越後晒し」



団体紹介

開校2年目に創部された郷土研究部は、京都の伝統芸能の継承に取り組んできました。特に平成16年度からは「六斎踊」を学ぶ活動を続けています。平成18年度に全国総文への出演や中国・西安市への親善訪問を行ったほか、京都コンサートホールで開催される全国高校生伝統文化フェスティバルにも平成25年度・平成26年度・令和元年度に特別出演させていただきました。その他、高齢者施設への慰問公演なども行ってきました。

演目紹介

六斎踊は、宗教的芸能である六斎念仏の中に、様々な芸能が取り入れられて成立した郷土芸能です。四つ太鼓は、台上に置かれた4つの太鼓を、篠笛と鉦の伴奏に合わせて、演者が入れ替わりつつ早打ちしていく演目で、演者ごとのリズムの強弱の付け方が聴き所となります。越後晒しは、九代目杵屋六左衛門が作曲した長唄の旋律に合わせて、豆太鼓の相打ちと白い晒し布を使った踊りが繰り広げられます。

読み仮名

九代目杵屋六左衛門（きゅうだいいめ きねやろくざえもん）

7. 京都橘高等学校「伏水の香」



団体紹介

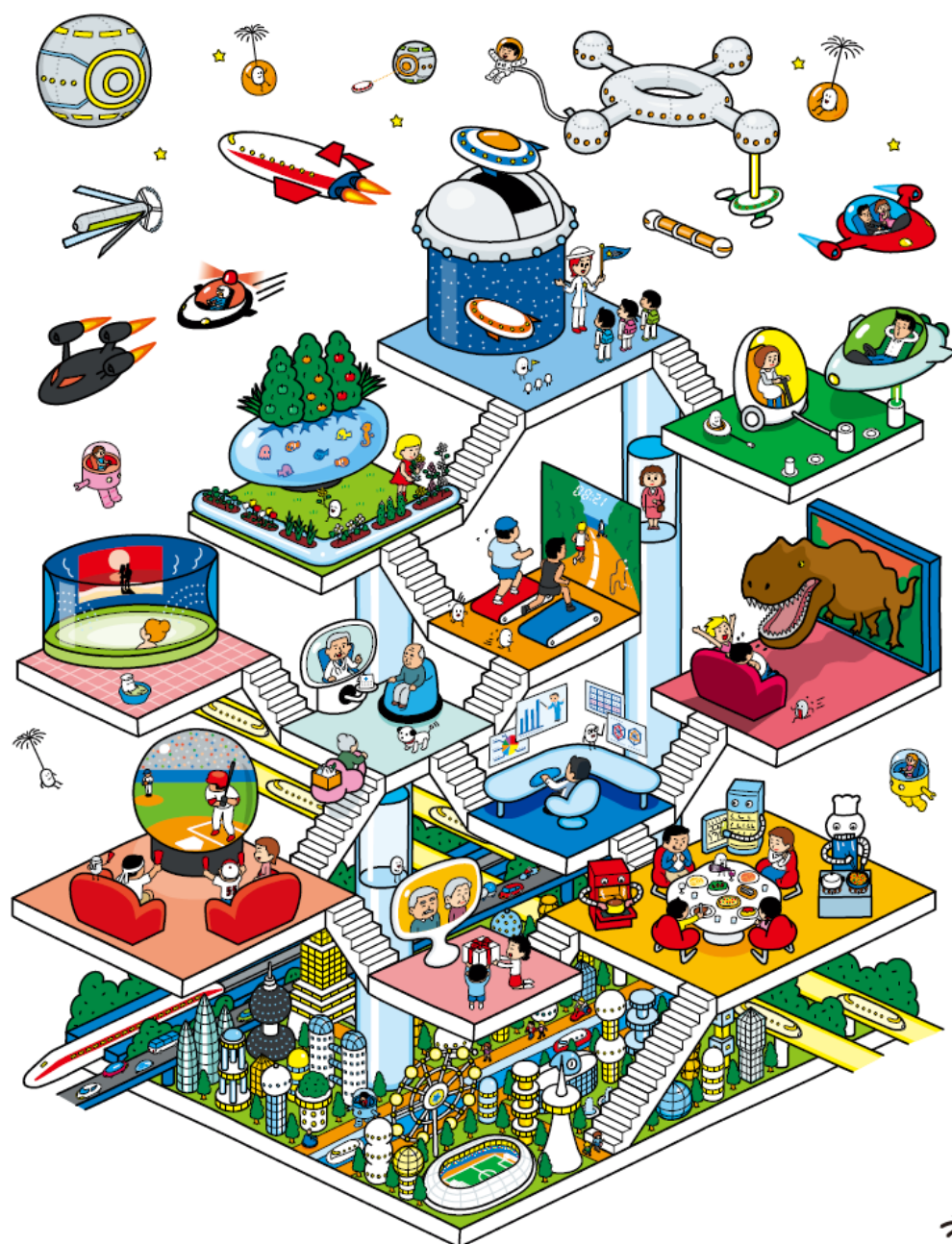
私たちの学校は、水と緑に恵まれた歴史の町、京都伏見にあります。文武両道を掲げ、学習にも部活動にも力を入れています。吹奏楽部、女子バレーボール部、男子サッカー部、陸上競技部が全国の舞台で活躍しています。太鼓部は1982年に太鼓サークルとして発足し、現在は京都橘中学校・高等学校太鼓部として活動しています。「心は一つ」を合言葉に、基礎基本を重んじ、日々活動に励んでいます。

演目紹介

「伏水の香」は太鼓部コーチ奥森陽平作曲によるオリジナル曲であり、伏見の町の歴史や風土を表す3章からなります。伏見は境内から香り豊かな湧き水が出たという由来から名付けられた御香宮神社があり、毎年秋に神幸祭にて多くの花傘が舞います。そして歴史のなかで多くの災害や争いごとが起こってきた町でもあります。香り出る湧き水が人を呼び、人々が文化や町を創る。平和や無病息災、五穀豊穡の祈りを全員演奏で表現します。

読み仮名

伏水の香（ふしみのこう）



ムラタの部品タネが未来を創る。

未来ってどうなっているんだろう？

空飛ぶ車、ロボット、飛び出す映画・・・。

私たちの仕事は電子部品というタネを、エレクトロニクスの世界に送り込むこと。

つまり、あなたが想像する豊かな未来を実現すること。

スマートフォン、電気自動車、ウェアラブル・・・。

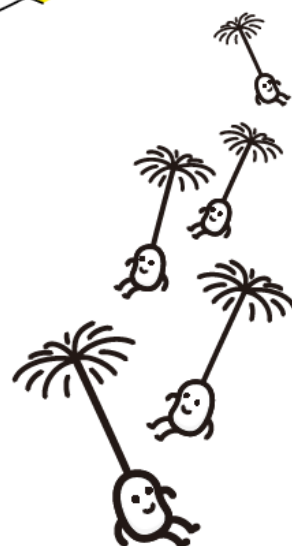
ほら、ちょっと前に想像していた未来が、もう今は実現されているでしょう？

私たちの創る小さな部品は、未来の始まり。

小さな部品で、エレクトロニクスの世界にたくさんの花を咲かせていきます。

村田製作所は、電気を蓄える積層セラミックコンデンサ、必要な電気信号だけを取り出す高周波フィルタをはじめ、スマートフォン、パソコンなどのあらゆる電子機器に不可欠な各種電子部品の開発、製造、販売を行っています。

株式会社村田製作所 本社:〒617-8555 京都府長岡京市東神足1丁目10番1号
お問い合わせ先:広報部 phone:075-955-6786 <https://www.murata.com/>



muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS